



EURANOS 除染技術データシートのご紹介

平成 23 年 8 月 12 日

日本原子力学会「原子力安全」調査専門委員会

クリーンアップ分科会

クリーンアップ分科会では、放射能汚染エリアの早期かつ合理的な環境修復に資するため、チェルノブイリ発電所事故における環境修復に関する調査（緊急シンポジウム資料：http://www.aesj.or.jp/aesj-symp/presentations/03-02_takahashi.pdf）等を行ってきました。

チェルノブイリ事故後、旧ソ連隣国のヨーロッパでは、同様の緊急事態に備えるため、2002～2006年に欧州委員会のもと、EURANOS プロジェクト（<http://www.euranos.fzk.de/>）が実施され、その成果として、緊急時に対応するための4つのハンドブックが作成されました（末尾）。

分科会では、避難されている方々の早期帰還の実現に向けて、下記ハンドブックのうち、①居住エリア管理のための包括的ハンドブックに着目し、それに含まれる除染技術データシート（59 件）を仮訳しましたので、ここに紹介いたします。

EURANOS 除染技術データシート（59 件）

ID： 1 屋内退避	ID： 31 高圧洗浄
ID： 2 避難	ID： 32 表面除去と置換
ID： 3 安定ヨウ素剤	ID： 33 舗装板の裏返し
ID： 4 呼吸保護のための簡易マスク着用	ID： 34 縛り付け（放射能汚染した表面に汚染を固定する）
ID： 5 窓、ドア、通気口の閉鎖と換気の制限	ID： 35 芝刈り
ID： 6 掃除機を利用した空気の浄化	ID： 36 草と灌木の除去
ID： 7 個人物品／貴重品のカバー、保管、密閉	ID： 37 芝の刈り取り
ID： 8 居住地からの一時的退避	ID： 38 表土と芝土の除去（機械式）
ID： 9 居住地からの永久退去	ID： 39 表土と芝土の除去（手作業）
ID： 10 非居住区域への公衆の立入り制限	ID： 40 汚染されていない土壌で被覆
ID： 11 非居住区域への従事者の（時間、職種による）立入り管理	ID： 41 固着（表面に汚染を固定する）
ID： 12 建物の取り壊し	ID： 42 耕うん機（機械による掘り起こし）
ID： 13 水洗浄	ID： 43 人手による掘り起こし
ID： 14 屋根のブラシかけ	ID： 44 芝や土の表面を覆う（例えばアスファルトで）
ID： 15 サンドブラスト	ID： 45 三層天地返し
ID： 16 高圧水洗浄	ID： 46 耕起
ID： 17 高圧温水による屋根の洗浄	ID： 47 深耕
ID： 18 屋根の取替え	ID： 48 ブラウによる表土の剥ぎ取りと埋設
ID： 19 硝酸アンモニウムによる壁処理	ID： 49 剥離性被覆材
ID： 20 木質壁の機械的研磨	ID： 50 除雪
ID： 21 固定化（表面への汚染物の固定）	ID： 51 落葉の収集
ID： 22 吸引清掃	ID： 52 樹木及び灌木の剪定／除去



ID : 23 洗浄	ID : 53 化学的除染と併用する超音波処理
ID : 24 その他のクリーニング法	ID : 54 汚染（工業活動によるもの）した換気システムの浄化
ID : 25 表面除去	ID : 55 フィルターの除去
ID : 26 家具、室内装飾品、その他物品	ID : 56 金属表面の化学的除染
ID : 27 室内の汚染された表面の積極的な洗浄	ID : 57 プラスチック及びコーティング表面の化学除染
ID : 28 保管、遮蔽、覆い、軽度の洗浄	ID : 58 金属表面での剥離可能なポリマーペーストの適用
ID : 29 消火用ホースによる散水洗浄	ID : 59 金属表面の電気化学除染
ID : 30 真空清掃	

なお、現在、これらのデータシートなどを参考にしながら、日本特有の除染対象を盛り込んだ「除染技術カタログ（日本版）」を作成しており、8月末を目途に同分科会 HP にて公表する予定です。

【EURANOS ハンドブック】

<http://www.uranos.fzk.de/index.php?action=uranos&title=products>

- ① 欧州における放射能事故で汚染された居住エリア管理のための包括的ハンドブック（Generic handbook for assisting in the management of contaminated inhabited areas in Europe following a radiological emergency）
- ② 欧州における放射能事故で汚染された食料生産システム管理のための包括的ハンドブック（Generic handbook for assisting in the management of contaminated food production systems in Europe following a radiological emergency）
- ③ 欧州における放射能事故時の緊急対策措置停止のための包括的ガイダンス（Generic guidance for assisting in the withdrawal of emergency countermeasures in Europe following a radiological emergency）
- ④ 欧州における放射能汚染された飲料水管理のための包括的ハンドブック（Generic handbook for assisting in the management of contaminated drinking water in Europe following a radiological emergency）

（注）上記のハンドブックの著作権は、英国 Health Protection Agency (HPA) にありますが、利用者を制限しないことを条件にコピー、配布、改編は許可されています。そのため、上記の仮訳データシートについても同様の取り扱いと致します。最後となりますが、EURANOS プロジェクトに参加され、ハンドブックとして取りまとめられた著者の方々に、分科会より深謝の意を表します（The Clean-up committee of Atomic Energy Society of Japan (AESJ) gratefully acknowledges the authors of EURANOS Handbook）。

<作業協力委員> 池田孝夫（日揮） 稲垣八穂広（九大） 小川徹（JAEA） 川上泰（原安協） 手島和文（大成建設） 長岡亨（電中研） 中澤俊之（三菱マテリアル） 藤田智成（電中研） 福井寿樹（日本原燃） 三島毅（大林組） 峰原英介（若狭エネ研） 八塩晶子（大林組） 山下祐司（東大） 山本正史（原環センター） 吉原恒一（原技協） 小泉務（JAEA）